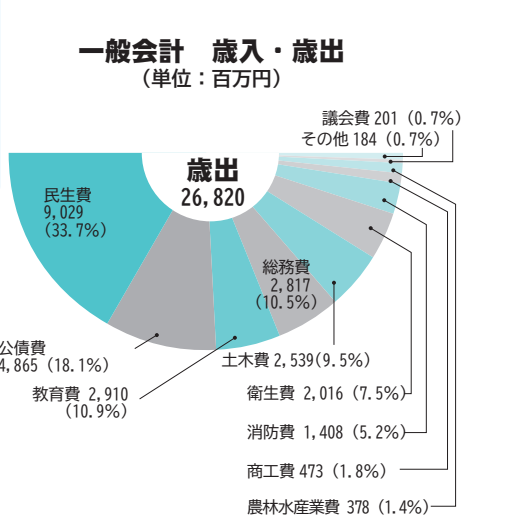
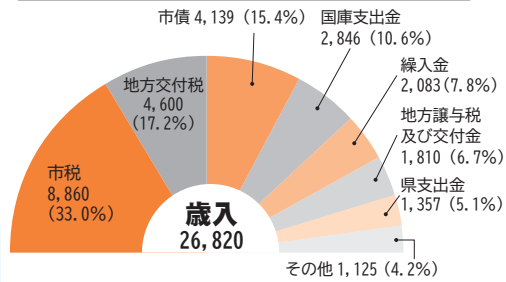


# 能美市の予算と施策

問/財政課 (☎ 58 - 2203 ☎ 58 - 2290)



令和5年度  
**一般会計 268億2,000万円**  
 ※借換債(20億1,538万円)を含む  
**予算総額 469億1,940万円**  
 (一般会計・特別会計・公営企業会計を合わせた予算額  
 前年度比39億4,420万円、9.2%増)



## 特別会計・企業会計

特別会計	
国民健康保険特別会計	41億9,000万円
後期高齢者医療特別会計	7億1,300万円
介護保険特別会計	46億3,800万円
温泉事業特別会計	2,570万円

▶特別会計…国民健康保険など一般会計とは区別が必要な事業の会計  
 ▶企業会計…水道など料金収入で運営している事業の会計

次のページからは5つの方針・目的を具体的に紹介!

## 全体像とポイント

令和5年度当初予算の一般会計、特別会計、企業会計の予算総額は、469億1,940万円と前年度比39億4,420万円、9.2%の増となりました。このうち一般会計の総額は、歳入歳出それぞれ268億2,000万円となり、前年度比23億円、9.4%の増となりました。

## 歳入

市税の総額は、前年度比4億1,000万円、4.9%増の88億6,000万円を見込みました。  
 市税は、所得環境および企業の業績回復を考慮し、個人市民税、法人市民税ともに増収を見込みました。固定資産税は、土地については地価の下落により減収を見込んでいるものの、家屋については新築家屋の増加、償却資産については企業の設備投資により増収を見込みました。  
 地方交付税は、国税収入の増加が見込まれていることから前年度比2億5,000万円、5.7%増の46億円としたほか、市債は、借換債、災害対策事業などにより前年度比13億3,690万円、47.7%増の41億3,948万円としました。

## 歳出

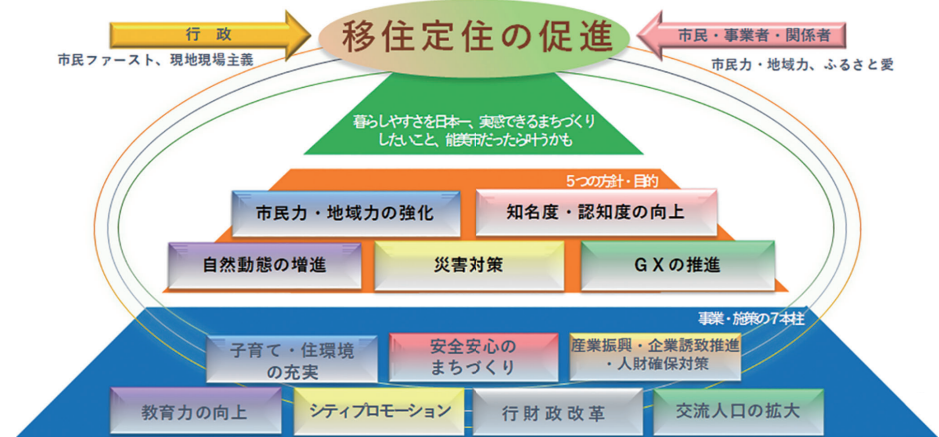
民生費は、寿保育園施設改修事業や根上北部児童センター・寺井中央児童館・粟生児童館施設改修事業などにより、前年度比8億7,072万円、10.7%増の90億2,852万円を計上しました。  
 公債費は、平成25年度の長期借入が10年経過したことから借換債を発行するため、前年度比10億3,170万円、26.9%増の48億6,477万円を計上しました。  
 教育費は、根上パークゴルフ場等周辺整備事業や寺井中学校夜間照明施設改修事業などにより、前年度比3,364万円、1.2%増の29億1,030万円を計上しました。  
 総務費は、スマートインクルーシブシティ推進事業や健康ロード改修事業などにより、前年度比5億4,568万円、24.0%増の28億1,722万円を計上しました。  
 土木費は、浸水対策事業や橋りょう補修事業などにより、前年度比3億410万円、13.6%増の25億3,900万円を計上しました。

企業会計		
水道事業会計	収益	9億910万円
	資本	8億7,540万円
工業用水道事業会計	収益	4億6,040万円
	資本	6億9,130万円
下水道事業会計	収益	17億30万円
	資本	23億4,010万円
市立病院事業会計	収益	27億6,600万円
	資本	7億9,010万円

## 予算編成の方針

能美市を取り巻く情勢・課題として、少子高齢化、社会インフラの老朽化、コロナ禍による交流、文化・スポーツ大会の減少に伴う市民力・地域力の低下、好調な企業誘致や地元企業の活発な設備投資に伴う人材確保などがあります。  
 また令和4年8月4日に発生した大雨による甚大な被害からの復旧・復興、そして同じような水害被害にあわないような防災対策も必要となっています。  
 そこで新年度は、これらの諸課題に対し、これまでの事業・施策の7本柱と5つの方針・目的により、全ての施策が「移住定住の促進」に繋がるよう予算編成を行いました。

## 事業・施策の7本柱と5つの方針・目的により予算を編成 「暮らしやすさを日本一、実感できるまち」を目指して



## 5つの方針・目的

- 災害対策** 「過去に経験したことの無い大雨」を教訓に、ハード・ソフトの両面で対策を実施
- 市民力・地域力の強化** 従来の生活を、そして能美の強みである市民力・地域力を更に強化
- 知名度・認知度の向上** 加賀立国1200年、能美の地名誕生1200年、北陸新幹線県内全線開業など「千載一遇のチャンス」を掴むため効果的な事業を展開
- 自然動態の増進** 手厚い子育て施策の更なる充実と健康寿命の延伸
- G Xの推進** SDGsの理念のもと、多様な主体との協働によるカーボンニュートラルの実現

GX(グリーン・トランスフォーメーション)とは  
 産業革命以来の化石燃料中心の経済・社会、産業構造をクリーンエネルギー中心に移行させ、経済社会システム全体を変革すること

## 知名度・認知度の向上

### 北陸新幹線県内全線開業効果を多岐に永続的に波及

- ・**シティプロモーション事業 (5,140 万円)**  
能美の魅力を詰め込んだ特設サイト「能美市大図鑑」の発信力向上、市民のお人柄や里山地区の魅力発信など
- ・**キャラクター活用事業 (1,510 万円)**  
市の知名度・認知度の向上を図るため、知名度の高いキャラクターを「応援大使」として迎え、市公式キャラクター「ひぼ能ん・ゆず美ん・ぼぼ能ん」とのコラボで各種シティプロモーション活動を実施
- ・**プロモーション事業 (3,198 万円)**  
北陸新幹線県内全線開業に向け、市民総参加でギネス世界記録に挑戦するほか、市ゆかりのミュージシャンによるコンサートなどの各種プロモーションを実施
- ・**観光誘客推進事業 (459 万円)**  
旅行会社との連携を強化し、Web 広告や新聞、パンフレット、メディアなどを活用し能美の魅力を発信
- ・**団体旅行促進事業 (232 万円)**  
市内観光地を訪れ市内宿泊施設に宿泊する団体旅行に対して補助。修学旅行誘致を強化するため、補助額の増額、貸切バス利用補助を新設
- ・**能美ふるさとミュージアム賑わい創出事業(1,880 万円)**  
能美に関する歴史ツアーや、ライトアップイベントを開催し、市の歴史資源を市内外へ発信



- ・**能美ふるさとミュージアム展示事業 (297 万円)**  
加賀立国能美の地名誕生 1200 年を記念した特別展のほか、季節ごとに特別展示を開催
- ・**能美根上駅利用促進事業 (64 万円)**  
昨年度のアンケート調査などの結果や東京大学生からの提案をもとに、市民などによる協議会を設置し、駅利用促進策を共創
- ・**能美根上駅周辺活性化整備事業 (1,140 万円)**  
駅での電車やバスなどの待ち時間を活用し、学習やテレワークに利用できる施設を整備
- ・**根上パークゴルフ場等周辺整備事業(2億 5,594 万円)**  
パークゴルフ場と公園を中心とした多世代間交流拠点を整備



- ・**翠ヶ丘運動公園施設整備事業 (457 万円)**  
昨年度実施の民間企業へのヒアリング結果をもとに、施設整備の基本構想などを作成
- ・**こくぞう里山活性化事業 (1,496 万円)**  
和気あいの里パーベキュー場の管理棟や外灯のほか、周辺の案内看板を整備
- ・**見本市等出展奨励事業 (250 万円)**  
市内中小企業・小規模事業者の国内外への販路拡大に対し支援し、事業拡大を推進

## 災害対策

### ハード対策

- ・**林業施設災害復旧事業 (3,900 万円)**  
林道鍋谷和佐谷線の復旧工事
- ・**農地・農業施設災害復旧事業 (2,500 万円)**  
農地・農業施設 (徳山町地内、金剛寺町地内、坪野町地内、鍋谷町地内) の復旧工事など
- ・**浸水対策事業 (2億 7,500 万円)**  
福島しらすの里周辺と下ノ江町サントウン、湯谷町などの浸水対策を実施
- ・**避難用農業管理道路整備事業 (500 万円)**  
下ノ江町サントウン内の農道を避難用道路に整備
- ・**民間宅地調整池整備支援事業 (200 万円)**  
民間開発造成地の浸水対策として、調整池整備を伴う宅地造成の整備を行う事業者に対して補助
- ・**既存住宅土砂災害対策事業 (300 万円)**  
土砂災害特別警戒区域 (レッドゾーン) 内の既存住宅に土砂災害対策を実施する所有者に対して補助
- ・**災害対策本部機能強化費 (3,892 万円)**  
河川監視カメラのサーバー・機器類の更新と、夜間監視に対応した機能向上。道路・交差点などの冠水を確認する監視カメラの増設を検討
- ・**体育施設通信環境整備事業 (844 万円)**  
指定避難所の根上勤労者体育センター、寺井体育館、物見山総合体育館の Wi-Fi 環境を整備
- ・**自主防災組織運営支援事業 (487 万円)**  
「防災倉庫の建築」と「土のう整備」を新たに補助対象に追加
- ・**自衛消防団活動支援事業 (700 万円)**  
「消防ポンプ格納庫整備 (新築・改築)」を新たに補助対象に追加

### ソフト対策

- ・**防災情報伝達システム整備事業 (3億 4,569 万円)**  
屋外スピーカーと各世帯の戸別受信機を更新。市 LINE 公式アカウントと登録制メール「Nomi メール」の配信を開始。いつでも、どこにいても、誰でもが緊急情報や生活に役立つ情報を受け取ることができるように運用
- ・**地域防災計画更新事業 (990 万円)**  
地域の特性を考慮した避難所の再検討と避難所台帳の整備
- ・**洪水ハザードマップ作成事業 (544 万円)**  
法改正に伴い、洪水ハザードマップを作成
- ・**水防関係活動業務費 (292 万円)**  
災害現場写真などの情報を現地・遠隔地でリアルタイムに共有するためのシステムを構築
- ・**防災センター利用促進事業 (200 万円)**  
体験施設や展示資料を充実させ、災害の教訓を後世に伝承。安全安心なまちづくりを实践する防災学習拠点としての機能を強化

## 市民力・地域力の強化

- ・**スマートインクルーシブシティ推進事業(2億 5,460 万円)**  
多世代交流などを展開する地域の拠点として「デジタル公民館」を整備。子育て世代対象のオンライン医療相談や IoT を使った見守りによる健康管理など各種デジタルサービスを提供
- ・**DX 推進事業 (386 万円)**  
市が提供する市民向けアプリや Web サイトの紹介、使い方を学べるスマホ活用講座を開催。北陸先端科学技術大学院大学と連携し、DX を推進
- ・**いしかわ百万石文化祭 2023 in 能美 (2,457 万円)**  
市民総参加を目指した文化の祭典を開催し、交流の場づくりや次世代への文化の継承を推進
- ・**デジタルスタンプラリー事業 (290 万円)**  
いしかわ百万石文化祭 2023 に合わせて、市内を巡るデジタルスタンプラリーを実施
- ・**市史編纂事業 (366 万円)**  
市制 20 周年に向けて、市の歴史・文化を「能美市史」として、後世に伝承
- ・**SDGs 推進事業 (886 万円)**  
のみ SDGs パートナース勉強会・交流会のほか、ホームページによる情報発信、出前講座などを実施
- ・**地域力創出支援事業 (292 万円)**  
地域づくりの担い手が連携し、公共的地域課題の解決を進める活動を補助
- ・**男女共同参画推進事業 (188 万円)**  
誰もが活躍できる社会の実現に向け、男女共同参画フォーラムを開催
- ・**自治公民館施設整備等事業 (1,873 万円)**  
自治公民館の施設整備、高騰する電気料金を補助
- ・**地域部活動推進事業 (1,510 万円)**  
学校主体の部活動を地域で担う体制へ段階的に移行
- ・**スポーツイベント開催事業 (265 万円)**  
多世代が交流できる e スポーツ体験会や根上翠ヶ丘運動公園でアーバンスポーツ体験会を開催
- ・**九谷陶芸村活性化事業 (145 万円)**  
「浅蔵五十吉記念館」の開館 30 周年を記念し、特別展などを開催

### 人財確保 U・I・J ターン促進 産業振興

- ・**人財確保サポート事業 (950 万円)**  
学生と若年求職者に企業の特徴や求める人財などを伝えるガイダンスの開催。インターネット上で市内企業の求人情報の露出を高める広告掲載を支援
- ・**市内事業者魅力 PR 事業 (116 万円)**  
市内企業で、いきいきと働く若者にスポットライトを当てた動画を集めた特設サイト「ゲンバ・ヒーローズ」を運営し、企業の人財確保と魅力向上を支援
- ・**U・I・J ターン就職促進事業 (452 万円)**  
企業 PR 支援と家賃補助で U・I・J ターン就職を促進
- ・**就職説明会出展奨励事業 (140 万円)**  
企業などの就職説明会出展経費を補助、学生などへの企業 PR 機会を提供し、U・I・J ターン就職を促進
- ・**定住促進助成交付金事業 (8,695 万円)**  
住宅取得の補助要件を緩和し、移住定住を促進
- ・**通勤用マイカー購入応援企業補助事業(125 万円)**  
新規採用社員に通勤用マイカーの購入費助成を実施する市内企業に対して補助
- ・**ふるさと寄附金推進事業 (6,500 万円)**  
返礼品を通して能美の魅力を市外に届けるとともに、安定した財源の確保と地域経済の活性化を促進
- ・**創業支援事業 (508 万円)**  
「創業サポートデスク」で創業に関する相談を受け、市内で創業する際にかかる初期投資費用を支援
- ・**のみブランド化推進事業 (508 万円)**  
「第 3 回のみブランド」認証品を特設サイト「能美市大図鑑」などで PR。販路拡大や魅力の向上、事業拡大を推進
- ・**6 次産業推進事業 (421 万円)**  
能美市産の農産物を活用した新商品や既存商品の改良に対して補助し、消費拡大を推進



# タウンミーティング・カフェトークで

## 市民の声をお聞きしています

市長と市民が直接対話し、皆さんに市政に対する理解を深めていただくとともに、市民の意見を広く市政に反映していくためにタウンミーティングを実施しています。また令和4年度からは身近なテーマを中心に少人数で市長と話し合う「市長と能ん美りカフェトーク」も行っています。

令和4年度開催実績（令和5年3月22日現在）  
タウンミーティング 17回、市長と能ん美りカフェトーク 9回  
1,000人以上の皆さんが参加されました



根上校下婦人会とのカフェトーク

皆さんからのご意見・ご提案の一部を紹介し  
皆さんからのご意見・ご提案の一部を紹介し

### 能美根上駅周辺に ワーキングスペースを

「電車やバスの待ち時間や有効に使える場所がある」とい  
「図書館とは別に、市内に学習スペースがあれば利用したい」



イメージ図

「ご意見をもとに…」  
今年度、JR能美根上駅にワーキングスペースを設置します。大学生のアイデアを反映させ、自習や仕事ができる場所としての活用などを検討しています。



### 物見山陸上競技場 入口の階段に手すり があるといい

「駐車場から物見山陸上競技場に行く階段を上るのが大変。手すりがあれば便利」

「ご意見をもとに…」  
手すりを設置し、子どもから大人まで幅広い世代の人が利用しやすいようにしました。



after

before



町会連合会とのタウンミーティング



北陸先端科学技術大学院大学の留学生とのカフェトーク

## information

### 市長と話してみませんか

タウンミーティング、カフェトークの開催を希望される団体などは、市ホームページをご覧ください。また、市長室にお問い合わせください。

▶ 問い合わせ  
市長室 ☎ 58-2202 ☎ 58-2290



皆さんの声を  
お聞かせください！

地域で活動している団体など、幅広い世代を対象としてタウンミーティングやカフェトークを行っています。

皆さんの生の声を直接お聞きする場としてだけではなく、皆さんの活動について勉強させていただく場としても大切な機会です。ぜひ一緒にいろいろな話をしましょう！



## 自然動態の増進

### 能美市版異次元の少子化対策

- ・スマートインクルーシブシティ推進事業（再掲）
- ・Web健康手帳事業（653万円）  
子育てアプリ「はぐはぐ」を活用し、乳幼児の予防接種に必要な予約票と接種記録をデジタル化
- ・児童館ICT化事業（600万円）  
放課後児童クラブと保護者との連絡や入退出管理をより円滑に行うため、保育支援システム（コドモン）を導入
- ・妊産婦・乳幼児医療機関委託健診事業（5,192万円）  
低所得世帯の妊婦に対する初回産科受診料、新生児聴覚検査費の助成を新たに実施
- ・任意予防接種助成事業（1,810万円）  
小学生までのインフルエンザとおたふく風邪の予防接種助成回数を1回から2回に拡充
- ・母子保健対策事業（350万円）  
永久歯の生え変わる時期の子どもを対象に、日常のブラッシングに加え、フック物によるむし歯予防を強化
- ・出産子育て応援事業（伴走型支援）（668万円）  
母子ケアや授乳指導を受けるための産後ケア事業を利用した場合の自己負担額を軽減
- ・やさしい道路空間整備事業（1,600万円）  
保育園・児童館と小学校が近接して立地している地区を対象に、歩行者が安全安心かつ快適と感じる「やさしい道路空間」を地域と協働で整備
- ・自転車用ヘルメット購入補助事業（429万円）  
購入費を補助し、ヘルメット着用の普及促進

### 健康寿命延伸

- ・スマートインクルーシブシティ推進事業（再掲）
- ・医療介護連携システム構築事業（5,730万円）  
医療介護専門職による「医療介護情報連携システム」の運用と医療介護データの分析により、在宅医療・介護の質を向上
- ・ひきこもり支援ステーション事業（941万円）  
ひきこもり支援を推進する体制を構築し、本人や家族などを支援することで社会参加を促進
- ・農村DX推進事業（278万円）  
農業の効率化や付加価値向上に向けて、身近なデジタル技術を活用し、スマート農業・農村を推進
- ・高齢者安全運転装置設置促進事業（370万円）  
高齢者の自動車後付け安全装置の購入費を補助

- ・湯野保育園・緑が丘保育園施設整備事業（4,840万円）  
新園舎建設予定地の測量、造成工事の設計業務を実施
- ・寿保育園施設改修事業（1億852万円）
- ・根上北部児童センター・寺井中央児童館・粟生児童館施設改修事業（2億8,230万円）
- ・寺井分室施設改修・寺井サービスセンター移転事業（6,594万円）

来庁者の待合スペースや執務室などの過密状態を回避するため、隣接する車庫を含めた施設の全面改修を実施。寺井サービスセンターではベビーカーや車椅子で来庁される人が安心して手続きができる空間を構築

- ・結婚新生活支援事業（931万円）  
新生活に必要な新居の取得費用や家賃、引っ越し費用、リフォーム費用を支援
- ・学校給食費補助事業（1,379万円）  
物価高騰に伴う材料費の値上げが保護者負担の増加にならないよう支援するほか、給食費の保護者負担を均一化
- ・家族で市内体験事業（1,450万円）  
3歳児から小学生までの子どもがいる世帯に家族で利用できる市内の観光施設やイベントなどの共通利用回数券を配付



- ・公共交通システム構築事業（1,667万円）  
市内の交通空白地でのデマンド交通の導入を検討
- ・粗大ごみ有料戸別収集事業（194万円）  
粗大ごみの排出が困難な人に対し、有料で粗大ごみの戸別収集を実施
- ・健康ロード改修事業（防犯灯）（4,701万円）  
LED街灯（防犯灯）を整備し、夜間の防犯力向上、安心してウォーキングできる環境を整備
- ・健康ロード改修事業（健康増進）（220万円）  
運動習慣づくりの促進支援を行うため、歩きたくなる仕掛けづくりを検討

## GXの推進

- ・省エネ住宅推進事業（300万円）  
省エネ住宅（ZEH）の購入・リフォームにかかる費用に対して補助
- ・自然エネルギー設備設置事業（300万円）  
新たに定置型蓄電池システムを補助対象に追加し、一部補助額を増額
- ・電気自動車等購入促進事業（100万円）  
新たに電気自動車などを購入する費用に対して補助



- ・美化センターLED化事業（2,879万円）
- ・カーボンニュートラル推進事業（305万円）  
事業者向けのGX・カーボンニュートラル勉強会の開催のほか、省エネ診断の受診費や省エネ設備導入などへの投資に対して補助

そのほかの事業については  
市ホームページをご覧ください。

